

MAFF ナビ いわて

東北農政局 岩手県拠点
令和8年3月

本紙は、農業や食料に関する情報をデータとともに提供し、農業関係者から消費者まで、皆さんに農産物の生産・消費に興味を持っていただき、考える材料として発信しています。

今回は、「農村活性化」をテーマとして、各地で活躍している「地域おこし協力隊」を取り上げました。

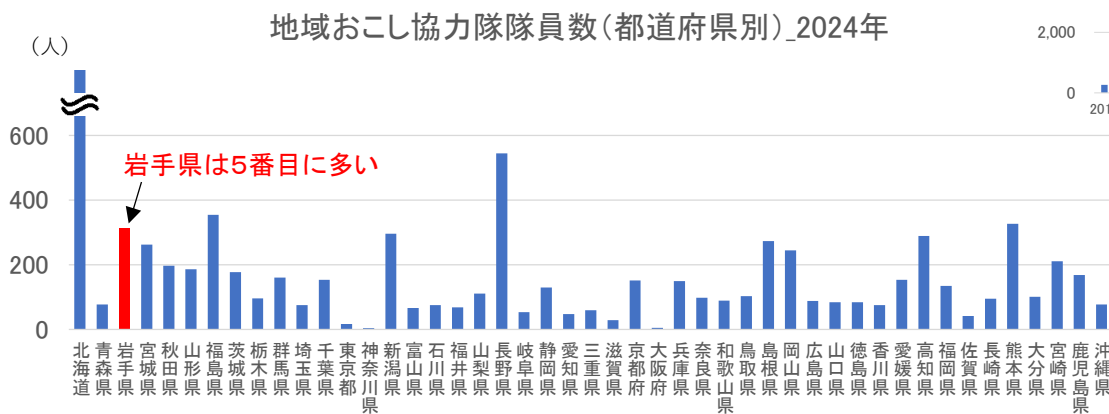
地域おこし協力隊とは、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

隊員は、限られた任期で新たな土地で活動しており、「よそのもの」の力で地域を盛り上げている様子は年々注目を集めています。

1 地域おこし協力隊の状況

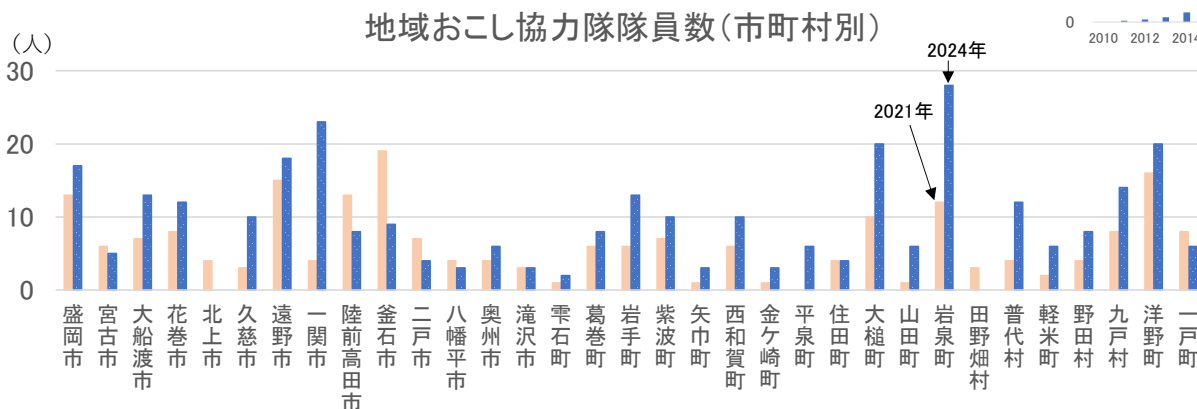
(1) 隊員数の状況（全国）

地域おこし協力隊の隊員数は全国的に増加しています。
また、岩手県の隊員数は全国5位の人数となっています。



(2) 隊員数の状況（岩手県）

岩手県の隊員数も、全国同様に増加しています。
市町村別では、「日本一の畑わさび」産地である岩泉町が最も多く、
同町では産地を守る力として協力隊に期待しているところです。



資料:総務省「令和6年度地域おこし協力隊の隊員数等について」

2 農業・農村分野で活躍する岩手県内地域おこし協力隊情報交換会開催(2月27日)

当拠点では、令和8年2月27日(金)に、農業・農村分野で活躍する地域おこし協力隊の情報交換会(オンライン)を開催し、県内各地の隊員10名が、取組内容や抱える課題等について意見交換を行いました。

隊員のみなさんは、住んだことのない町に移住し、新たな取組を始めたわけですが、前向きにチャレンジし、様々な課題を乗り越え活躍している様子がうかがえました。

また、一方では悩みや課題も多く挙げられ、先輩隊員による自身の体験からのアドバイスに、参加者がうなずき耳を傾ける様子は印象的でした。

<意見交換の様子>

声を出せば誰かが
助けてくれます!

画面越しではありましたが楽しく意見交換できたかなと思います。
これからの、みなさんの活動に役立てばうれしいです!

ヤーコン作りませんか!

人のつながりは大事!



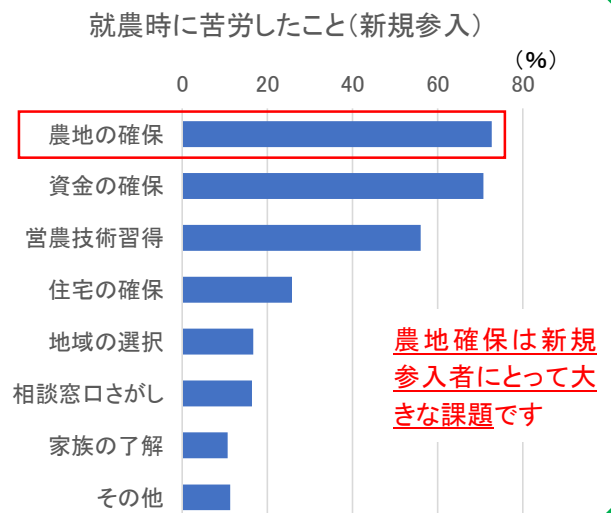
柴崎 千花(SHIBASAKI Chika)



<参考>

(一社)全国農業会議所新規就農相談センターが実施した「新規就農者の就農実態に関する調査結果」によると、新規参入で就農する際に苦労したことは、「農地の確保」と「資金の確保」でした。卒隊員が近くなった地域おこし協力隊の方からも同様の話を聞くことが多いので、関係機関一体となって支援していくことが重要と考えます。

資料:(一社)全国農業会議所新規就農相談センター「新規就農者の就農実態に関する調査結果」(平成7年3月)



<参加された方からの意見>



Q 卒隊後の農地の確保はどうする？

A

- ・農業委員会に相談
- ・農地を探していることを様々な場で声に出す
(運はおのずとついてくる…！)



相談相手は？

Q 誰に何を相談したらよいか悩んでしまう…

A

- ・いろんなところに飛び込んで、人脈をつくる
- ・地域のことに詳しいお年寄りや、協力隊OB、協力隊OGを頼ってみる
- ・県の普及センターにぜひご相談を！



農地はどうやって探す？



そもそも農業・農村は課題が多いが？

Q 高齢化や遊休農地の増加など、農業の課題にどのように取り組んでいる？

A

- ・若者に農業の格好良さを伝えるためにイベントを企画、開催している
- ・地域の特産品を知ってもらうために特産品を使用した商品を開発しPRしている



農村をもっと情報発信したいけど？

Q 農業以外の活動（情報発信など）にどれくらいの力を注いでよいものか加減が難しい…

A

- ・全ての活動は最終的に自分の軸につながるので、やりたいことはやってみる！
- ・任期中に自分の活動をどれくらい知ってもらえるかは重要



地域おこし協力隊情報交換会に参加した協力隊員のご案内（東北農政局岩手県拠点ホームページ）

○令和6年度



○令和7年度

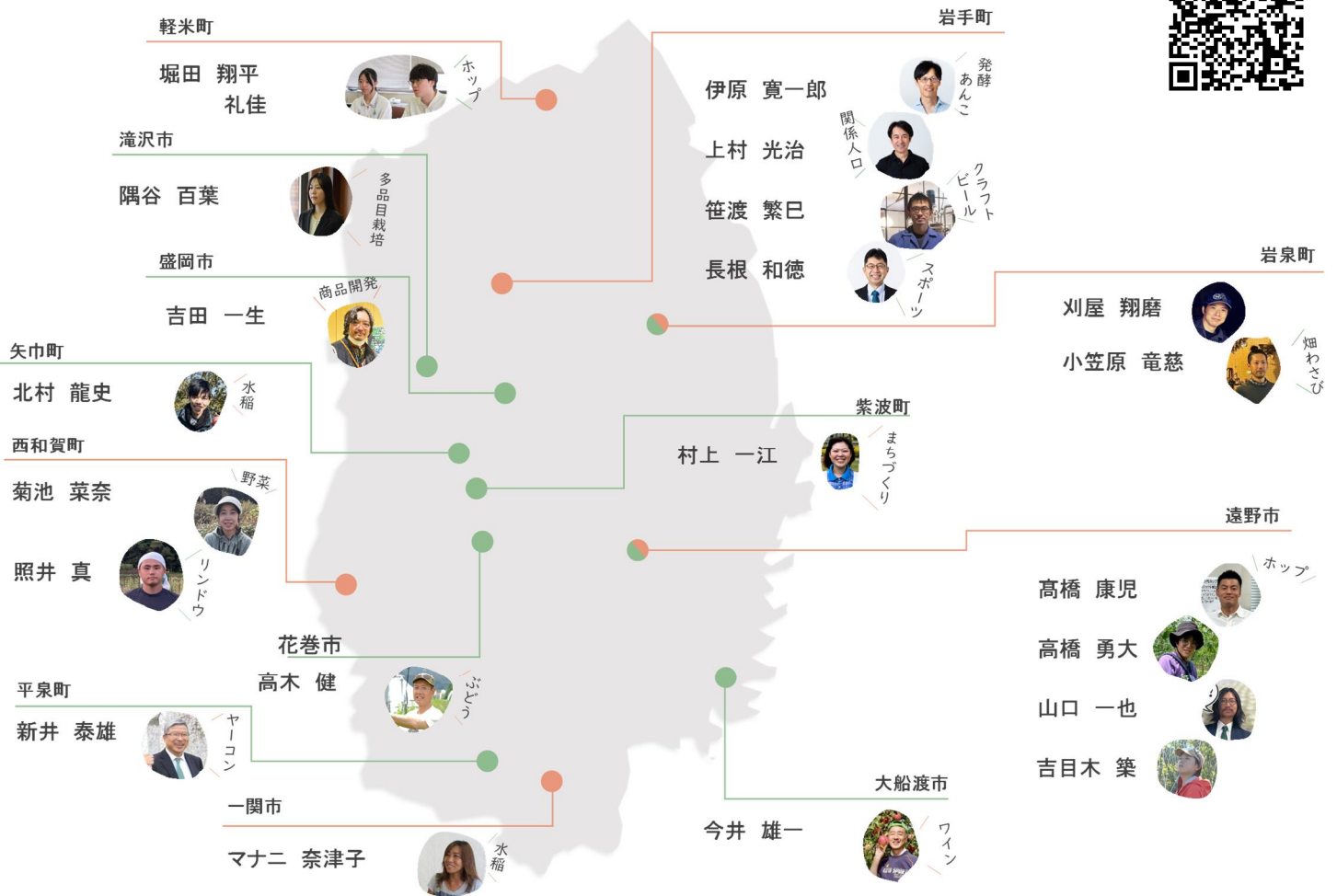


3 令和7年度にご協力いただいた地域おこし協力隊のみなさんを紹介

当拠点は、前項の情報交換会のほかに、隊員のみなさんを直接訪問し活動内容などのお話を伺いました。

東北農政局岩手県拠点のホームページで紹介していますので、是非、ご覧ください。

<令和7年度にご協力いただいた協力隊員>



－ 編集後記 －

岩手県内では、地域おこし協力隊への期待が年々高まっています。私自身、市町村の首長の皆様とお会いした際には、協力隊員の活躍について話題にのぼることが多く、「協力隊のおかげで地域が元気づいた」「協力隊の取組をきっかけに職員の意識が変わった」といった声を数多く伺っています。協力隊員の日々の活動が、地域に確かな変化をもたらしていることを、改めて感じております。

協力隊員の皆さんは、縁あって岩手県各地に移住し、農業・農村分野で様々な活動を行い地域を盛り上げていこうと頑張っています。各地で奮闘する協力隊員を見かけることがありましたら、声を掛けていただければ幸いです。

岩手県拠点としても、協力隊員の皆さんの活動を今後も応援してまいります。

<協力隊員の皆様へ>

近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



東北農政局岩手県拠点
岩手県盛岡市盛岡駅前北通1-10
019-624-1125

MAFF